

心理学・教育学委員会 脳と意識分科会 第24期・第5回 議事要旨

日時：平成30年12月14日（金）14時30分～17時10分

会場：日本学術会議 6-C(1) 会議室

出席者：苧阪直行委員長、坂田省吾幹事、蘆田宏、大平英樹、苧阪満里子、川畑秀明、坂上雅道、三宮真智子（Skype参加）、仁平義明、松井三枝、渡辺茂（11名）

配付資料：第24期・第4回議事要録（案）、マスタープラン2017

議題

（1） 前回議事の確認

第4回分科会の議事要旨を配布して確認した。

（2） 近畿地区講演会「社会脳から心を探る」（10月20日）の報告について

日本学術会議 近畿地区講演会「社会脳から心を探る」を苧阪直行委員長が企画して下記日時に開催した。

日時：2018年10月20日 13時～17時

場所：京都大学イノベーションホール

分科会からは松井三枝委員が司会をして、大平英樹委員が話題提供を行った。

（3） 蘆田宏委員の研究紹介

これまでの運動視およびfMRIの研究を中心に紹介があり、参加した各委員から質問が出て熱心な討論が行われた。

（4） マスタープラン2020について

融合社会脳研究センター構想は融合領域でマスタープラン2017に選定されている。

（1） 計画の準備状況に進展が見られる。

（2） 当該の学術コミュニティが総意として継続を希望、了承している。

2018年は公開シンポジウムを3件開催した実績があることを確認した。

提案内容については2017を基礎として議論をして区分Iとして提出することとした。心理学主導の真理探究型の脳研究であり、病理的な脳研究とは異なる予防的な脳研究の位置づけを確認した。今後はこれをベースに提案作業をすることを確認した。

（5） 次回の分科会開催日程について

次回の日程も含めてメール審議を継続することとした。審議内容は「マスタープラン2020に向けた融合社会脳研究センター構想について」とした。